

よつくら通信

文責；いわき市立四倉小学校長 小川幸一

夏休みを事故なく、有意義に過ごす

1学期ももうすぐ終わります。1学期の登校日数は72日間。長いようであつという間に過ぎてしまった気がします。1年生もすっかり小学校生活に慣れ、登校するとすぐに着替えて学習の準備や朝の運動に取り掛かることができるようになりました。子ども達の順応性や学習能力の高さには驚くばかりです。また、この間、6年生にとっては最大の行事である小学校陸上競技大会が行われました。5年生の時からこの大会を目標に、運動に取り組んできました。HPでも紹介しましたが、学年の約半数の児童が入賞を果たすという大活躍ぶりでした。入賞しなかった児童も自己の記録を更新し、努力が結果となって現れました。この大会で願う育てたい力は、目標を持って努力し続ける力です。この大会において、まさにこの力が伸びたことを実感しています。この態度が今後の生活に活かされるよう願うばかりです。

さて、あさってから夏休み。35日間という長い期間です。しかし、終わってしまうとやはりあつという間です。したがって、一日一日を大切に、そして有意義に過ごしてもらいたいと切に願っています。担任の先生からもお話があったと思いますが、そのためには次のことが重要です。

- 1 規則正しい生活を送る。(早寝、早起き、朝ごはんの励行)
- 2 計画的に生活をする。(生活表、学習計画表等に基づいた生活)
- 3 きまりやマナーを守って安全に生活する。
(特に自転車乗り、川・海での遊び、通信機器での遊び等)

ここで、来校されたお客様(仮称Aさん)の実際にあつたエピソードを紹介します。

Aさんが、本学区外のスーパーへ買い物に行き、サービスカウンターの近くにいたところ、就学前の男の子が買い物カートを勢いよく押しては飛び乗り、を繰り返して近づいてきた。危険を察し、カウンターを背に避けようとしたが、カートで足の甲を轆かれその瞬間に足をひねり捻挫した。次に、そのカートは近くにいたご老人に当たり、その方が転倒し頭部を強く打った。ご老人は動けなくなったので、すぐに救急車が要請された。

その騒ぎを聞きつけ、男の子の母親が駆けつけた。母親は、自分の子どもがカートで人を轆いたり転倒させたりしたことを、被害者の方や近くにいた方々から説明されると次のように話し、さっさと店を出て行った。「それは、子どもがしたことですから…。」。謝罪の言葉や体を気遣う言葉は一切聞かれなかった。

この話をお読みになり、何をお感じになられたでしょうか。私は、この母親の親としての無責任さと、子どもの将来の姿の哀れさを感じました。権利だけを求めるような人間になるでしょう。

親は、子どもの行動、生活すべてに責任を負わなければなりません。子どもは、親の願うようにはなりません。しかし、親のようにはなりません。子どもは、いつも親の姿を見て育っています。親のすることが一番なのです。

夏休み、親子の時間が長い期間です。子どもに望むような姿の生活を、親子で営んでください。

———— 7・8月の行事予定 ————

21日(金)ニュースポーツ 土曜学習 29日(土)四倉夏まつり 4日(金)土曜学習4～6年 7日(月)土曜学習1～6年 11日(金)山の日	14日(月)・15日(火)空直日；学校に職員がいない日 25日(金)2学期始業式 28日(月)集金日(低学年) 29日(火)集金日(中学年) 発育測定(上学年) 30日(水)集金日(高学年) 発育測定(下学年)
--	--

頭を鍛える・心を鍛える・体を鍛える

「鍛える」を合言葉に、勉強に運動に全職員で取り組んでいるところです。

6年生の陸上競技大会も終わり、さらに全校で体力向上のために朝の運動に取り組んでいます。登校後、着替えが終わった子どもからすぐに校庭に出て運動をさせています。1年生は校庭2周(320m)2年生は3周(480m)3年生は4周(640m)走った後、各学年の運動に移ります。4年生は4周(640m)、5年生は5周(800m)、6年生は6周(960m)走った後、トラック内でもも上げダッシュ走、ゴム跳び、ハードル走を各2回行います。その後、各学年の運動に移ります。

学習をするには、集中力が必要です。集中力は体力が元となります。体を鍛え、体力を向上させることが頭脳の活性化に繋がります。また、最後までやり通すことが、心を鍛えることにもなります。子どもたちには、がんばりカードを持たせ、運動をした日に○をつけさせ、自分の努力のあとが実感できるようにしています。



— 除去土壌搬出作業について —

22日(土)から9月末日まで、校庭に保管されている原発事故に伴う除去土壌の搬出作業が行われます。

右の図のように、工事のための囲いを設置します。内部へ立ち入らないようお願いします。

また、トラックと児童の登下校時の経路は、矢印の通りです。トラックの出入り口は、プール側の正門1箇所となります。登下校時には極力トラックの出入りを少なくすることと、誘導員の配置により安全を確保するとのことです。

度重なる工事でご迷惑をおかけいたしますがよろしくご理解とご協力をお願いします。

← 児童経路 ← トラック経路

